

小水力発電によるエネルギーの地産地消の実践

＜概要＞

- ・ 事業実施主体：石川県
- ・ 設置場所：農家民宿群「春蘭の里」
(石川県鳳珠郡能登町)
- ・ 発電出力：3kW（最大出力）のマイクロ水力発電
(交流宿泊施設「こぶし」に供給)
- ・ 発電電力量：11,000kWh/年（目標）
- ・ 総事業費：4,100万円
- ・ 運転開始時期：平成27年4月



小水力発電施設の外観

＜特徴＞

- ・ 「春蘭の里」のある石川県鳳珠郡能登町は、農家を改築した民宿で宿泊し農作業など田舎生活を体験するグリーンツーリズムでの都市住民との交流や集落の景観保全に取り組んでいるが、高齢化が著しく、人口減少が深刻な問題となっていることから、地域の活性化を図るため、小水力発電を導入。
- ・ 小水力発電施設を「春蘭の里」に訪れる修学旅行生らの環境教育の教材として活用することで、環境学習の場としての価値を高め、交流人口の拡大につなげている。
- ・ 発電した電気は、「春蘭の里」内の交流宿泊施設に供給しており、エネルギーの地産地消の実践や施設の維持管理費の軽減が図られてる。



発電状況を示す掲示板
(交流宿泊施設前に設置)